

令和 7 年 5 月 27 日

報道関係 各位

田辺市農林水産部
梅振興室長 西尾 浩樹

「梅の日」記念行事の開催について（ご案内）

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当室が事務局を務めます「紀州梅の会（会長：真砂充敏田辺市長）」は、日本一の生産量と品質を誇る紀州梅の産地の行政・農協・梅干組合・生産農家代表で構成する団体で、昭和 44 年の発足以来、紀州梅の宣伝と振興に取り組んでいます。

本会では、平成 18 年から 6 月 6 日を「梅の日」と制定し、毎年地元、東京、京都にて梅の日記念の式典や行事を開催しております。

昨年に引き続き、本年も、従来の開催方法で記念式典等を実施する予定ですが、新たに、梅の日を、また、紀州梅をアピールするためのイベント等を実施する予定でありますので、報道方よりお願いいたします。

なお、各行事の詳細な内容等については、現在調整中の事項もあり、今後の状況によっては変更になる場合がございますので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

◎梅の日について

本会では、日本記念日協会の承認を受け、平成 18 年より 6 月 6 日を「梅の日」と制定いたしました。6 月 6 日としたのは、梅が実り収穫が本格的に始まる時期であることと、天文 14 年 4 月 17 日（室町時代、現在の暦で 1545 年 6 月 6 日）、京都・賀茂神社の例祭において、時の後奈良天皇が祭神を祀り、神事がおこなわれた際、当時大変貴重であった梅が献上され、五穀豊穡と人々の健康を祈願したという故事に由来するものです。

日本の食文化の起源でもあり、古来より日本人の生活と文化に深く浸透し愛されてきた梅を再認識し、梅に感謝するとともに、受け継がれてきた伝統文化を継承し、「梅のある暮らし」を広げていきたいと考え制定した次第です。

紀州梅の会事務局（田辺市 農林水産部 梅振興室）
担当：田中、西尾、前田（内線：2932）
和歌山県田辺市東山一丁目 5 番 1 号
電 話 0739-26-9959 F A X 0739-22-9903
メール ume@city.tanabe.lg.jp

①地元での「梅の日」記念式典

◇田辺市本宮町（担当：紀州田辺梅干協同組合、田辺市）

- 日 時 6月6日（金）午前10時～
- 場 所 熊野本宮大社（和歌山県田辺市本宮町本宮 1110）
- 内 容 神事・梅漬けの儀・神楽・挨拶・献杯

◇みなべ町（担当：紀州みなべ梅干協同組合、みなべ町）

- 日 時 6月6日（金）午前10時～
- 場 所 須賀神社（和歌山県みなべ町西本庄 242）
- 内 容 神事・挨拶・献杯

②東京での「梅の日」記念行事（担当：田辺市・JAわかやま紀南地域本部）

◇東京大田市場「梅の日 和歌山の梅フェア」

- 日 時 6月3日（火）午前6時30分～（予定）
- 場 所 東京都大田区東海3-2-1 大田市場内
- 内 容 市場内での紀州梅の会トップセールス
紀州梅の展示、梅干し試食など
- 出席者予定
紀州梅の会会長 田辺市長 真砂 充敏（まなご みつとし）
紀州梅の会副会長 JAわかやま紀南地域本部長 大炭 敦史（おおすみ あつし）
梅娘2名 田辺市職員
JAわかやま紀南地域本部職員
和歌山県、市場関係者、JAわかやま、東京青果株式会社、他関係者

③「紀州 梅道中」 京都賀茂神社（下鴨・上賀茂）への梅奉納
（担当：紀州梅の会梅干部会、田辺市）

- 日時・場所 6月6日（金）
午前10時30分～ 下鴨神社（京都市左京区下鴨泉川町 59）
午後1時30分～ 上賀茂神社（京都市北区上賀茂本山 339）
- 内 容 時代装束をまとい、行列を組んで両神社へ青梅を奉納（各神社へ南高梅10kg）。
行列参列者は、平安装束女性・担い手・雲水・奉行（直垂（ひたたれ））・のぼり他
- 訪問者 京都行列団長：紀州梅の会梅干部会 部会長 杉本 宗一（すぎもと むねかず）、献梅使、引率人、随行ほか 総勢約50名

④シグネチャーパビリオン「EARTH MART」×紀州梅の会共同プロジェクト万博漬け（担当：若梅会・田辺市）

- 日 時 6月6日（金）
万博漬けパフォーマンス

■場 所 大阪・関西万博シグネチャーパビリオン「EARTH MART」

■内 容 6月23～24日にかけて、「EARTH MART」内の梅ダルに梅を漬ける。
それに先立ち「梅の日」に梅漬けパフォーマンスを実施する。

※詳細はおってホームページでお知らせします。

<https://www.tanabe-ume.jp/umenokai/banpakuzuke/>

■参加者 若梅会、田辺市

⑤梅干し配布「消費者に降雹被害を伝える」（担当：若梅会・みなべ町）

■日 時 6月6日（金）各所 11時予定

■場 所 東京（新橋駅）

■内 容 梅干しの配布

雹被害に遭った傷のある梅干を配るのは「自然と向き合う誠実な農業の証」。見た目は傷がありますが、歴史的な一年の記憶とともに、どうぞお召し上がりください。

■参加者 若梅会、みなべ町

⑥SNSで「梅の日」を一斉に発信（担当：若梅会）

■日 時 6月6日（金）

■内 容 事前に告知し、SNSで「#梅の日」などつけて、梅に関連する写真をみんなに投稿してもらう。

⑦「梅の日」に梅干しを食べようキャンペーン（6月6日前後）

紀州梅の会各団体を中心に、地元から「6月6日に梅干しを食べること」を実践し、情報発信に努めています。

◇主な取り組み

- ・みなべ町…梅干しおにぎりを食べる習慣づくりをしています。小・中学校の給食では、子どもたちが梅干しおにぎりを握って食べます。
- ・田辺市…学校給食において梅を取り入れた給食を食べてもらおうと、幼稚園、小・中学校の給食に梅干し等を提供しています。
- ・上富田町…6月の学校給食において、梅を使ったメニューを多く提供する。

※各行事の報道用写真については、梅振興室にご連絡いただければ、可能な限り、ご提供いたします。

紀州梅の会

会 長：田辺市長

副会長：みなべ町長、和歌山県農業協同組合紀南地域本部長、紀州梅の会梅干部会長
（構成団体）

田辺市、みなべ町、上富田町、印南町、白浜町、すさみ町、和歌山県農業協同組合紀南地域本部、和歌山県農業協同組合紀州地域本部、紀州みなべ梅干協同組合、紀州田辺梅干協同組合、和歌山県農業協同組合紀南地域本部梅部会、和歌山県農業協同組合紀南地域本部梅部会梅干分科会、紀州みなべ梅干生産者協議会、和歌山県農業協同組合紀州地域本部梅部会、和歌山県農業協同組合連合会

梅

六月六日は

紀州南高梅

きしゅうなんこううめ

の

日

お中元・お歳暮

大切な人に梅干しを贈りませんか？

紀州梅の会

- ・紀州みなべ梅干協同組合
- ・紀州田辺梅干協同組合
- ・JAわかやま
- ・JAわかやま紀州地域本部
- ・JAわかやま紀南地域本部

- ・JAわかやま紀州地域本部梅部会
- ・紀州みなべ梅干生産者協議会
- ・JAわかやま紀南地域本部梅部会・梅干分科会
- ・印南町

- ・みなべ町
- ・田辺市
- ・上富田町
- ・白浜町
- ・すさみ町

「梅の日」に関するお問い合わせ先

「紀州梅の会」事務局

田辺市梅振興室内
TEL 0739-26-9959

6月6日は「梅の日」

今をさかのぼること480余年(1545年天文14年4月17日、室町時代後期)、日本中に晴天が続き、作物が育たず、田植えもできずに人々が困り果てていました(天文の飢饉1540年)。

当時の後奈良天皇が神様のお告げにより、京都の賀茂別雷神社に詣で、梅を奉納して祈ったところ、たちまち雷鳴とともに大雨が降りはじめ、五穀豊穡をもたらしました。

人々は、その天恵の雨を「梅雨」と呼び、梅に感謝するとともに災いや疫病を除き、福を招くものとして、また薬として重宝されました。

この話が、宮中の日記「御湯殿上日記」に記されていたことから、紀州梅の会によって6月6日が「梅の日」と定められました。(平成18年6月1日、日本記念日協会に登録)

「梅の日」を記念し、人々の健康を祈願して当地方の基幹産業・農産物である梅に感謝をこめ、平成18年度から梅の日記念行事・式典を行っています。

夏場の熱中症予防や冬場のインフルエンザ等の対策など、年間を通して梅を積極的に食べていただくことで、皆様が健康で元気に過ごせるよう祈願いたします。



熊野本宮大社



賀茂神社 (上賀茂神社・下鴨神社)



須賀神社

賀茂神社(賀茂別雷神社、賀茂御祖神社)への梅奉納、地元の熊野本宮大社・須賀神社での記念式典、内閣総理大臣への梅贈呈、東京大田市場での「梅フェア」など、さまざまなキャンペーンを連動させながら全国の皆様に紀州梅のPRを行っています。